

令和4年(2022年) 8月4日(木) 13937号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankanzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankanzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円



銅建値は2万円引き下げの109万円

8月の月内建値平均は109万1,700円

JX金属は3日、電気銅建値を2万円引き下げの109万円にすると発表、同日より実施した。8月の月内建値平均は109万1,700円。

3日に入電した直近のLME銅相場前場売値が7,819.00ドル。3日の東京市場の米ドルTTSレートは134.74円。この値で換算した採算価格は、105万3,500円。建値と採算価格から見た諸掛りは3万6,500円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

2022年

3月…1190(1) 1240(3) 1270(7) 1240(9) 1220(15) 1250(17)	
1280(22) 1310(24) 1330(29)	平均1263.8
4月…1310(1) 1340(6) 1320(12) 1340(14) 1360(19) 1370(22)	
1320(26)	平均1336.5
5月…1280(9) 1260(11) 1220(13) 1250(17) 1230(19)	
1260(23) 1250(26)	平均1250.6
6月…1270(1) 1340(7) 1360(9) 1330(13) 1290(15) 1260(17)	
1270(22) 1180(24)	平均1270.0
7月…1170(1) 1130(5) 1080(7) 1100(11) 1050(13) 1070(19)	
1050(22) 1080(27)	平均1085.5
8月…1110(1) 1090(3)	平均1091.7



黄銅削粉買値は12円 引き下げの816円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は3日、黄銅削粉買値を12円引き下げの816円と発表した。今月2回目の改定。

鉱工業生産・出荷6月

生産8.9%プラス 3か月ぶり上昇 「一進一退」に引き上げ

経済産業省

経済産業省がこのほど発表した2022年6月の鉱工業生産・出荷・在庫動向によると、生産指数(2015年=100、季節調整済み)は95.8、前月比8.9%プラスと、3か月ぶりの上昇となった。4月と5月は中国のロックダウンの影響などから低下したが、解除などを受けて自動車工業など多くの業種で上昇。基調判断は、5月の「弱含み」から、「一進一退」に引き上げた。

業種別では、全体15業種のうち11業種が前月比で上昇し、4業種が低下した。ロックダウン解除などを受け、自動車工業や電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業など多くの業種が上昇した。

上昇寄与度の最も大きかった自動車工業は、普通乗用車、普通トラックなどが主な上昇要因。

次に寄与の大きかった電気・情報通信機械工業は、基地局通信装置、自動車用電気照明器具などが主な上昇要因。基地局通信装置は国内事業者向けの増加などにより、また自動車用電気照明器具は完成車の生産増に伴う増加により上昇した。

次に寄与の大きかった電子部品・デバイス工業は、モス型半導体集積回路(メモリ)、アクティブ型液晶パネル(大型)などが主な上昇要因。同回路は堅調な半導体需要により、液晶パネルはタブレット端末用の需要増加などにより上昇したとみられる。

出荷は、季節調整済指数93.3、前月比プラス4.6%と、こちらも3か月ぶりの上昇となった。全体15業種のうち13業種が上昇し、2業種が低下した。

出荷も、ロックダウン解除などを受け、自動車工業や電気・情報通信機械工業、生産用機械工業など多くの業種が上昇した。

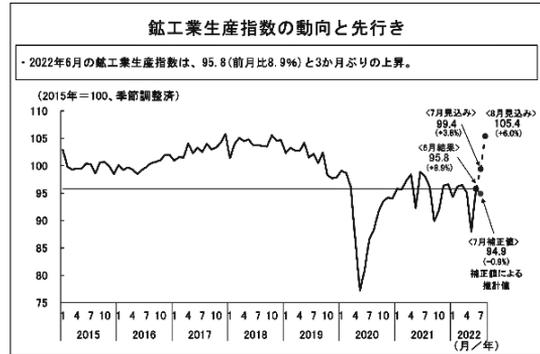
上昇寄与度最大の自動車工業は、普通乗用車、自動車エンジンなどが主な上昇要因。次に寄与の大きかった電気・情報通信機械工業は、基地局通信装置やリチウムイオン蓄電池などが主な上昇要因。(次頁へ)

基地局通信装置は生産と同様に国内事業者向けの増加などにより、またリチウムイオン蓄電池は車載用の需要増加などにより上昇した。次に寄与の大きかった生産用機械工業は、半導体製造装置、マシニングセンタなどが主な上昇要因で、堅調な海外需要などを受けて上昇した。

財別出荷指数は、生産財が前月比5.2%の上昇、耐久消費財が同14.5%の上昇、資本財（輸送機械除く）は7.4%上昇、建設財は2.1%上昇となり、非耐久消費財を除き上昇した。

先行きは、企業の生産計画では7月と8月はともに上昇となっている一方、7月の補正値は前月比0.9%の低下を見込んでおり、ならしてみると一進一退で推移しているとみられる。引き続き、コロナの変異タイプや

部材供給不足、物価上昇の影響などについて注視する必要があるという。



鉱工業生産指数の動向と先行き

鉱業政策の確立に関する要望書 財務・経産省、衆参議員に提出 鉱業政策促進懇談会

日本鉱業協会（納武士会長）などで構成する鉱業政策促進懇談会（会長：佐竹敬久・秋田県知事）はこのほど、「鉱業政策の確立に関する要望書」（令和5年度）を決議し、財務省、経済産業省、衆・参両院議員に提出するとともに要望行動を行った。会の構成は、地方自治体：全国金属鉱業振興対策協議会／労働組合：日本基幹産業労働組合連合会／産業界：日本鉱業協会、中小鉱業対策推進中央・地方本部、全国八地方鉱業会連合会。要望書は次の通り。

* * *

非鉄金属製錬業は、電気料金の高止まりによる製錬コストの負担増、環境規制の強化、脱炭素化の推進、資源・製錬分野の人材確保難等、多くの課題が継続し、厳しい事業環境下にあります。

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売 亜鉛ドロス・滓買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3
電話 06-6471-2531~5
FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5
電話 03-3618-2351~2

さらに、ロシアのウクライナ侵攻等による資源・エネルギーの供給懸念や経済安全保障への関心が高まり、非鉄金属の安定供給確保はこれまで以上に重要性を増しています。

カーボンニュートラル社会の実現に不可欠な非鉄金属素材の安定供給、循環型社会の構築・推進、地域経済社会の発展と雇用の安定確保等、当業界に課せられた多くの使命を確実に果たしていくためには、事業基盤の一層の強化が不可欠であり、官民一体の取り組みが求められています。この実現のため、次の鉱業政策の強化を要望します。（【 】内は要望先）

最重点項目

I. 資源確保のための支援策の強化【経済産業省、財務省】

- ・非鉄金属鉱業に係る税制の拡充及び恒久化
- ・資源外交の強化と在外政府機関による支援の拡充

II. 低廉・安定的な電力供給の確保【経済産業省、財務省】

- ・安全確認された原子力発電所の再稼働などベースロード電源の早期確保
- ・FIT賦課金減免措置の維持・拡大
- ・カーボンニュートラル達成に向け、非化石電源由来する電力の供給

1. 資源確保のための支援策の強化【経済産業省、財務省】

- (1) 非鉄金属鉱業に係る税制の拡充及び恒久化
- (2) 海外資源開発助成策の拡充
- (3) 資源外交の強化と在外政府機関による支援の拡充
- (4) 資源分野の人材育成の強化
- (5) 海洋鉱物資源開発へ向けた長期的な取り組みの継続
- (6) 改正鉱業法の適正かつ合理的な運用
- (7) 資源技術開発の推進
- (8) 国内資源開発助成策の再開

2. カーボンニュートラルの取組み【経済産業省】

- (1) 産業界の自主的取組みの尊重
 - (2) 供給電力の非化石電源化の推進
 - (3) 省エネ技術開発の推進及び創電・蓄電・節電設備等の導入支援
 - (4) 革新的技術開発の支援
- (次頁へ)

(5) 地熱エネルギーの導入拡大

3. 製錬業の国際競争力の強化【経済産業省】

- (1) 低廉で安定的な電力供給の確保
- (2) 製錬技術（選鉱工程を含む）の開発支援
- (3) 亜鉛と鉛の用途拡大の促進
- (4) 副産物の用途拡大
- (5) 硫酸の用途拡大にかかわる支援
- (6) 新材料開発の推進
- (7) 非鉄金属関税の維持・存続

4. リサイクル事業環境の整備【経済産業省、環境省】

- (1) 循環型社会構築のための対策推進
- (2) リサイクル事業の拡大・開拓のための支援
- (3) リサイクル技術・システム高度化のための開発支援
- (4) 使用済小型家電リサイクル法の見直し
- (5) 国際資源循環システムの推進

5. 環境・保安対策の充実

【経済産業省(1)-(5)、財務省(1)、環境省(6)】

- (1) 休廃止鉱山鉱害防止等工事費等に係る補助金予算の確保
- (2) 鉱害防止工事の早期終了・省エネ補助金の有効活用
- (3) 坑廃水処理の終了、更なる坑廃水処理コストの削減

(4) 自然災害への備え

(5) 盛土規制法について

(6) 水銀条約について

6. 産学官連携による技術開発の推進と人材育成

【経済産業省】

- (1) 資源・製錬分野の人材確保・育成強化のための予算確保、実効ある制度の運用
- (2) 同分野の若手研究者・中堅教員育成支援
- (3) 同分野を学ぶ学生への奨学金制度の創設・拡充
- (4) 海外鉱山運営のグローバル人材育成と人材需給ギャップ緩和の仕組み作り

銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶

www.kimura-metal.co.jp



QRコード

大阪市大正区



木村金属株式会社

06-6552-7840

INMCO COCHILCO チリ：Cochilco、2022年の銅価格予測を4.0US\$/lbに下方修正

2022年7月29日付けでCochilcoは、2022年第2四半期の銅市場レポートを公表し、2022年の銅価格予測を4.4US\$/lbから4.0US\$/lbに下方修正した。2023年の銅価格予測は、3.95US\$/lbを維持している。今回の銅価格予測の下方修正についてCochilcoのJorge Cantalupts氏は、DRコンゴとインドネシアの銅生産量の増加及び供給量増加予測と中国の銅需要が鈍化したためであるとコメントしている。

その他、2022年の世界の銅供給は24,774百万t（対前年比2.2%増）、銅需要は24,654百万t（同1.2%増）で120千tの供給過剰となることが予測されている。また、チリの2022年銅生産量は5,430千t（同3.4%減）と予測されている。

銅・非鉄金属地金全般

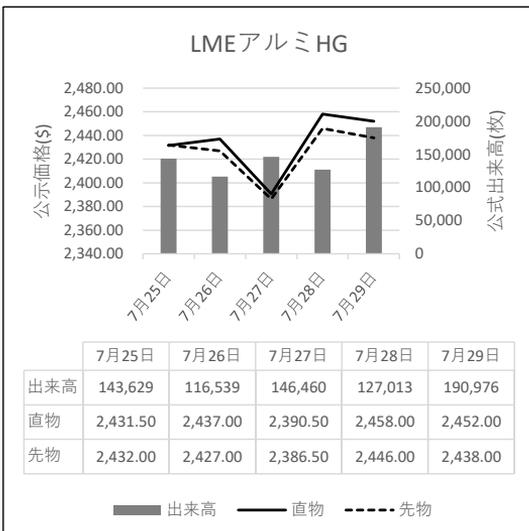
株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

✓ LME公式値週間推移 7月25日~7月29日(現地)



故銅市況

3日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の7,930.50ドルより111.50ドル安の7,819.00ドル。直物の終値は、前営業日の7,821.25ドルより12.50ドル安の7,808.75ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の7,940.50ドルより135.50ドル安の7,805.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の7,819.50ドルより13.00ドル安の7,806.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の9月限は、前営業日の354.25セントより2.40セント安の351.85セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の9月限は、前営業日の6万0,690元より640元安の6万0,050元。

3日の東京為替市場TTSレートは、前日の131.88円より2.86円の円安ドル高、1ドル=134.74円。3日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は7,819.00ドル。この値と3日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の108万3,000円より8,000円高の109万1,000円。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(8月3日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が838~843、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは803~808、並銅は768~778、込銅（高品位=約97%）は758、セパは638~643。コーベルは要り用筋で579、それ以外は564ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋589、それ以外559~569どころの値頃。並青銅鋳物削粉は672~677どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が818~838、上銅新くすが783~803、普通上銅が758~778、2号銅線が750~770、並銅が748~768、込銅(94-97%)が696、込銅(90-93%)が698、下銅が367~417、セパが603~638、コーベルが519~564、黄銅棒材が514~559、黄銅削粉が509~554、黄銅ラジが474~482、交叉ラジが434~491、黄銅鋳物が443~450、送りが267~286、上青銅鋳物が669~689、並青銅鋳物が649~664、上青銅鋳物削粉が664~684、並青銅鋳物削粉が639~659どころ。

アルミニウム二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (7月後半)

2S=215円~235円、63S=199円~250円、アルミホイール(1P)=111円~225円、ビス付サッシ=77円~86円、エンジンコロ=100円~108円、込合金(機械鋳物)=83円~91円、缶プレス(ソフト)=56円~66円。

関西地区 (7月後半)

2S=197円~200円、63S=200円~235円、印刷版=190円~193円、アルミホイール(1P)=176円~186円、ベースメタル=144円~148円、機械鋳物=86円~89円、ダライ粉=65円~68円、ビス付サッシ=83円~98円、缶プレス=73円~78円。

この日、電気銅建値は109万円に引き下げられた。

為替動向

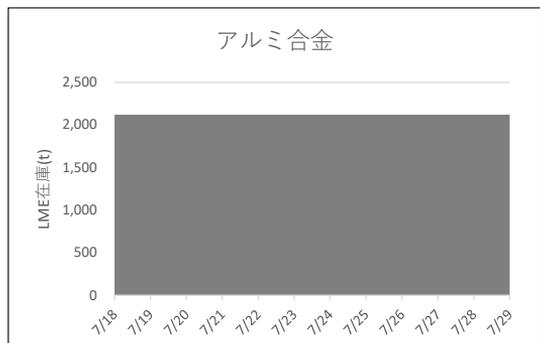
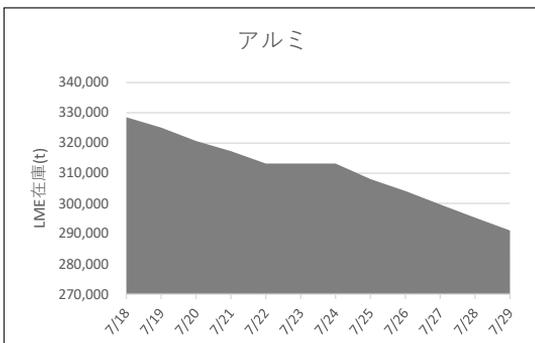
2日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0070ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.0200ドル~1.0210ドルで推移した。ペロシ米下院議長を訪いで米中間の緊張が高まるとの警戒感からリスク回避資産とされるドルを買い戻すのが優勢になった。

2日のニューヨーク外国為替市場で円相場は5営業日ぶりに反落した。前日と比べ1.60円の円安ドル高、1ドル=133.15円~133.25円で取引を終えた。米国の長期金利は1日夜、2.51%と4か月ぶりの低水準を付けたが2日の取引時間中に2.77%に上昇。金利安を手掛かりに進んだ円高ドル安を巻き戻す動きが広がった。2日の東京市場では130.40円と6月上旬以来の円高水準を付けた反動もあり円売りドル買いが勢いづいた。

3日早朝の東京外国為替市場で円相場は下落した。8時30分、前日17時と比べ2.68円の円安ドル高、1ドル=133.50円~133.52円だった。2日、サンフランシスコ連銀デイリー総裁の「(物価目標について) 終わりは程遠い」との発言が伝えられるなど、7月FOMC後、FRBが利上げペースを緩めるとの見方が広がっていたが、インフレ抑制に向けて金融引締に前向きなFRBの姿勢が改めて意識され始めた。2日の米国では長期金利が上昇、円売りドル買いに拍車がかかった。

円は対ユーロでも下落した。同じく1.86円の円安ユーロ高、1ユーロ=135.63円~135.66円だった。

LME認定倉庫在庫推移 7月18日~7月29日(現地)





LME銅相場は反落 直物終値は7,808.75ドル
 COMEX銅相場は続落 SHFE銅相場は反落
 LME非鉄相場は総じて軟調 金利上昇が商品相場の重荷に



3日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、8月2日入電の7,930.50ドルより111.50ドル安の7,819.00ドル。4営業日ぶりの反落で1.41%安。この週0.24%の上伸。8月に入って0.24%の上伸。3か月物の前場売値は、8月2日入電の7,940.50ドルより135.50ドル安の7,805.00ドル。4営業日ぶりの反落で1.71%安。この週0.17%の上伸。8月に入って0.17%の上伸。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地8月1日の13万1,275トンより300トン減の13万0,975トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、8月限が、8月2日入電の355.20セントより2.75セント安の352.45セント。2営業日の続落で1.66%安。この週1.66%の下落。8月に入って1.66%の下落。中心限月に当たる9月限は、8月2日入電の354.25セントより2.40セント安の351.85セント。2営業日の続落で1.54%安。この週1.54%の下落。8月に入って1.54%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、8月限が、8月2日入電の6万1,150元より990元安の6万0,160元。7営業日ぶりの反落で1.62%安。この週0.27%の上伸。8月に入って0.27%の上伸。中心限月に当たる9月限は、8月2日入電の6万0,690元より640元安の6万0,050元。7営業日ぶりの反落で1.05%安。この週0.64%の上伸。8月に入って0.64%の上伸。

錫も反落

LME錫相場の前場売値は、直物が、8月2日入電の2万5,795.00ドルより1,095.00ドル安の2万4,700.00ドル。4営業日ぶりの反落で4.25%安。この週1.21%の上伸。8月に入って1.21%の上伸。3か月物の前場売値は、8月2日入電の2万5,600.00ドルより1,050.00ドル安の2万4,550.00ドル。3営業日ぶりの反落で4.10%安。この週1.03%の上伸。8月に入って1.03%の上伸。

LME公認倉庫の錫在庫は現地8月1日の3,855トンより130トン増の3,985トン。

鉛も反落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、8月2日入電の2,057.00ドルより15.00ドル安の2,042.00ドル。3営業日ぶりの反落で0.73%安。この週0.94%の上伸。8月に入って0.94%の上伸。3か月物の前場売値は、8月2日入電の2,060.50ドルより15.50ドル安の2,045.00ドル。3営業日ぶりの反落で0.75%安。この週1.04%の上伸。8月に入って1.04%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地8月1日の3万8,875トンよりトン減の3万8,875トン。

亜鉛は続伸

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、8月2日入電の3,405.50ドルより39.50ドル高の3,445.00ドル。4営業日の続伸で9.71%高。この週2.81%の上伸。8月に入って2.81%の上伸。3か月物の前場売値は、8月2日入電の3,292.50ドルより47.00ドル高の3,339.50ドル。4営業日の続伸で9.56%高。この週2.38%の上伸。8月に入って2.38%の上伸。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地8月1日の6万9,725トンより1,675トン減の6万8,050トン。

アルミは反落 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、8月2日入電の2,469.50ドルより21.00ドル安の2,448.50ドル。反落して0.85%安。この週0.14%の下落。8月に入って0.14%の下落。3か月物の前場売値は、8月2日入電の2,448.00ドルより11.00ドル安の2,437.00ドル。反落して0.45%安。この週0.04%の下落。8月に入って0.04%の下落。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地8月1日の28万8,125トンより万8,525トン増の29万6,650トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、8月2日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。8月に入って横ばい。3か月物の前場売値は、8月2日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。8月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、8月2日入電より横ばいの2,395.00ドル。この週0.04%の下落。8月に入って0.04%の下落。3か月物の前場売値は、8月2日入電より横ばいの2,395.00ドル。この週横ばい。8月に入って横ばい。

ニッケルは反落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、8月2日入電の2万4,025.00ドルより1,200.00ドル安の2万2,825.00ドル。4営業日ぶりの反落で4.99%安。この週3.51%の上伸。8月に入って3.51%の上伸。3か月物の前場売値は、8月2日入電の2万4,150.00ドルより1,275.00ドル安の2万2,875.00ドル。4営業日ぶりの反落で5.28%安。この週3.86%の上伸。8月に入って3.86%の上伸。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地8月1日の5万7,978トンより36トン減の5万7,942トン。

LME公示価格(US\$)／8月2日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	7,819.00	24,700.00	2,042.00	3,445.00	2,448.50	1,760.00	2,395.00	22,825.00
	前営業日比	▲ 111.50	▲ 1,095.00	▲ 15.00	39.50	▲ 21.00	0.00	0.00	▲ 1,200.00
先物	公示価格	7,805.00	24,550.00	2,045.00	3,339.50	2,437.00	1,760.00	2,395.00	22,875.00
	前営業日比	▲ 135.50	▲ 1,050.00	▲ 15.50	47.00	▲ 11.00	0.00	0.00	▲ 1,275.00

海外非鉄金属相場

(8月3日 入電・現地 8月2日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル, NYコメックス相場) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices.

出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table showing monthly price trends for Copper (銅HG), Gold (金), Silver (銀), Platinum (プラチナ), and Palladium (パラジウム) from August to December.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table for '採算相場' (Profitability Market) showing prices for LME (銅, 錫) and COMEX (銅) in dollars and yen.

フリー・マーケット

■米国生産者価格(地金)

Table for US Producer Prices (Silver) showing prices for EH社 and HH社.

■NY相場

Table for NY Market prices for Copper and Tin.

■ロンドン相場(ドル)

Table for London Market prices (Dollars) for various metals like Gold, Antimony, Bismuth, Cadmium, etc.

■KLT M 銅 (MYR/KG、出来高トン)

Table for KLT M Copper prices (MYR/KG) showing market status, high prices, and O/D rates.

■LME在庫(トン)

Table for LME Inventory (Tons) showing stock levels for Copper, Tin, Lead, Zinc, and Nickel.

■上海在庫(トン)

Table for Shanghai Inventory (Tons) showing stock levels for Copper, Aluminum, Zinc, and Nickel.

■LMEプレマーケット(ドル)

Table for LME Pre-Market (Dollars) showing prices for Copper, Tin, Lead, and Aluminum.

■上海相場

Table for Shanghai Market prices showing prices for Copper, Zinc, Lead, and Nickel.

※3日のKLTMは取引がありません。

Table for '上海' (Shanghai) prices showing prices for Copper, Aluminum, Zinc, and Lead in dollars and yen.

非鉄金属製品相場

(8月3日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	◆ 1400	◆ 1315	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	◆ 1450	◆ 1365	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	◆ 1530	◆ 1515	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	◆ 1520	◆ 1485	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	◆ 1640	◆ 1425	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	◆ 1310	◆ 1285	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	◆ 1365	◆ 1330	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 31.1~33.1
銅線0.9ミリ	◆ 1390	◆ 1345	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 85.1~90.5
銅帯6×50	◆ 1320	◆ 1285	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 212~225
銅平角線	◆ 1590	◆ 1515	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	◆ 1170	◆ 1130	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1617~1719
〃 0.3ミリ	◆ 1200	◆ 1160	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2490~2647
黄銅大板2×1×2	◆ 1320	◆ 1310	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4180~4443
黄銅管	◆ 1640	◆ 1610	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2610~2769
復水器用黄銅管	◆ 1610	◆ 1580	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3639~3861
黄銅棒快削25ミリ	◆ 975	◆ 990	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西-関東)
六角棒	◆ 1005	◆ 1020	貴金属(一般小口向け)			3C×2 127-130
四角棒	◆ 1035	◆ 1050	白金(グラム)		◎ 4303	4C×2 171-175
鍛造用	◆ 1015	◆ 1030	パラジウム(グラム)		◆ 10114	6C×2 242-248
ネーバル	◆ 1115	◆ 1130	金(グラム)		◎ 8373	7C×2 276-283
高力	◆ 1115	◆ 1130	銀(キログラム)		◆ 97240	合金鉄 6月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	◆ 1345	◆ 1310	レアメタル輸入価格	6月通関 (CIF)		フェロマンガン2%以上炭素含有 276
黄銅平角線ロール仕上	◆ 1545	◆ 1520	金属ケイ素(99.99%未満)	502		〃 その他 373.3
黄銅条1.5×100	◆ 1165	◆ 1145	モリブデン酸化物	4055		フェロシリコン55%以上 313
リン青銅板一般用1.0ミリ	2470	2660	タンタル	59923		フェロクロム4%以上炭素含有 282.2
〃 バネ用0.3ミリ	2720	2920	マグネシウム	627		フェロモリブデン純分60%以上 4030
リン青銅棒25ミリ	2630	2840	コバルト	10887		フェロバナジウム 4593
リン青銅線3ミリ	2930	3140	インジウム	28162		フェロニッケル33%未満 851.5
洋白板一般用1.0ミリ	3480	3630				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3650	3810				

減摩合金	8月1日改定	銅合金地金	8月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	4780	BC 1種	1210
2種	4650	2種	1530
3種	4510	3種	1615
4種	3965	6種	1295
5種	3770	7種	1425
7種	1355	YBSC 3種	1085
8種	1190	LBC 3種	1560
9種	1010	PBC 2種	1635



https://home.nikkankinzoku.co.jp/

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(8月3日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		41,000 ~ 43,000(1)				
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場					
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値			
1 号 銅 線	◆ 985	◆ 987	電 気 銅	◎ 1053	◎ 1048	◎ 1055	◎ 1050	山元建値	電気銅	1090(3)	金	7,590(3)
2 号 銅 線	◆ 943	—	電 気 亜 鉛	480	474	480	474	() 実施日	電気鉛	336(1)	銀	86,860(3)
上 銅 (新 切)	◆ 956	◆ 952	蒸 留 亜 鉛	468	462	468	462		電気亜鉛	508(1)	錫(99.99%)	4,800(1)
雑 ナ ゲ ッ ト	◆ 816	◆ 814	再生ダイカスト亜鉛2種	399	393	399	393					
並 銅	◆ 898	◆ 881	再 生 亜 鉛 (98%)	351	345	351	345					
下 銅	◆ 879	◆ 854	電 気 鉛	308	305	308	305					
銅 削 粉	◆ 873	◆ 857	再 生 鉛 1 号	291	281	291	286					
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	296	292	296	292					
新 切 黄 銅 セ バ	◆ 761	◆ 757	錫 1 号	3500	3450	3500	3450					
コ ー ベ ル	◆ 728	◆ 715	ア ン チ モ ン	2000	1950	2000	1950					
黄 銅 棒 地	◆ 712	◆ 703	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	◎ 3150	◎ 3100	◎ 3150	◎ 3100					
黄 銅 削 粉	◆ 706	◆ 699	コ バ ル ト	◆ 8200	◆ 7900	◆ 8200	◆ 7900					
並 黄 銅	◆ 627	◆ 631	セ レ ニ ウ ム	◆ 2900	◆ 2700	◆ 2900	◆ 2700					
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	◆ 532	◆ 516	ビ ス マ ス	1350	1250	1350	1250					
交 叉 ラ ジ エ タ ー	◆ 578	◆ 585	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550					
黄 銅 鑄 物	◆ 627	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	500	480	500	480					
山 送 り (55%)	355	—	ア ル ミ 地 金 99.70 %	◎ 370	◎ 366	◎ 372	◎ 368					
上 青 銅 鑄 物	◆ 757	—	ア ル ミ 二 次 地 金 99 %	305	300	305	300					
並 青 銅 鑄 物	◆ 755	◆ 742	〃 90 %	273	268	273	268					
上 青 銅 鑄 物 削 粉	◆ 750	—	ア ル ミ 二 次 合 金 ADC12	◆ 417	◆ 412	◆ 420	◆ 415					
並 青 銅 鑄 物 削 粉	◆ 740	◆ 730	鑄 物 用 C2BS	◆ 442	◆ 437	◆ 444	◆ 439					
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	◆ 981	青 銅 合 金 地 金 3 種	◆ 1555	◆ 1545	◆ 1630	◆ 1620					
〃 (鑄 物)	◆ 869	—	〃 6種	◆ 1255	◆ 1245	◆ 1320	◆ 1310					
リ ン 青 銅 削 粉	◆ 787	◆ 775	ハ ン ダ 錫 60 %	3165	3125	3185	3155					
新 切 洋 白 (電 子 材)	◆ 803	◆ 786	〃 50 %	2730	2680	2750	2720					
新 切 亜 鉛	243	243	〃 40 %	2360	2300	2315	2285					
ダ イ カ ス ト く ず	208	208	減 摩 合 金 2 種	4615	4585	4620	4590					
亜 鉛 ド ロ ス	186	197	〃 4 種	3930	3905	3935	3905					
上 鉛	144	142	〃 7 種	1335	1285	1335	1285					
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	27	27	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		80	80					
活 字 鉛	129	126		〃 ダライ粉		65	65					
新 切 ア ル ミ 1 級	237	239		高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316		260	260					
新 切 サ ッ シ 1 級	237	237		耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310		465	465					
新 切 合 金 1 級	222	217		13クローム 新切		24	28					
機 械 鑄 物 1 級	150	155		ハ イ ス 9種		220	220					
ピ ス 付 サ ッ シ P	173	170										
合 金 削 粉 P	95	100										
込 ガ ラ P	90	92										
カ ン ・ バ ラ	160	161										



非鉄金属材料相場面
PW:KINZOKU2208